

- 問1 青森県のりんご栽培において、長期間にわたって鮮度を保ち、収穫時期以外の時期にも安定して出荷できるようにするための工夫として、最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 高知県公立入試 類似)
1. 酸素や二酸化炭素の濃度、温度を調節する「CA貯蔵」という技術を用いて、果実の呼吸を抑えて保存する。
 2. 夏の冷たく湿った風である「やませ」による被害を防ぐため、すべての果樹園を巨大な温室で覆って栽培する。
 3. 収穫時期をずらすために、標高の高い山地から低地まで、あらゆる高度の土地で一斉に同じ品種を栽培する。
 4. 収穫後の傷みを防ぐため、水分をすべて飛ばした乾燥果実（ドライフルーツ）の状態でのみ全国へ出荷する。
- 問2 東北地方の気候と農業に関する説明のうち、太平洋から陸地に向かって吹く北東風の性質と、その地形的な影響をふまえた記述として適切なものはどれですか。 (2026年 岡山県公立入試 類似)
1. 夏に南から吹く湿った風が太平洋側に当たること、温暖な気候を利用した稲の二期作が盛んに行われている。
 2. 冷たく湿った北東風が奥羽山脈に突き当たることで、山脈の東側にあたる太平洋側で低温や曇天が続き、稲作に悪影響を及ぼすことがある。
 3. 冬に太平洋側から吹く冷たい風が山脈にぶつかること、日本海側とは対照的に、太平洋側の平野部に大雪をもたらす。
 4. 湿った北東風が奥羽山脈を越える際に水分を失い、山脈の西側にあたる日本海側で乾燥した高温の風となり、大火災を招く恐れがある。
- 問3 岩手県を代表する伝統的工芸品である「南部鉄器」の特徴や背景について述べた文として、正しいものはどれか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
1. 京都から伝わった高度な織物の技術を背景に、華やかな模様の衣服として普及した。
 2. ブナやスギなどの豊富な森林資源を利用し、樹皮を加工して作る木工品である。
 3. 日本海側の気候を生かした漆塗りの技術が特徴で、主に高級な食器として発展した。
 4. 盛岡市や奥州市を中心に生産され、鉄瓶などに代表される頑丈で独特の質感を持つ鋳造品である。
- 問4 仙台駅を起点とした東北地方の移動について、鉄道の整備状況と所要時間の関係を示した記述として正しいものはどれですか。なお、仙台駅から盛岡駅へは約39分、秋田駅へは約139分、気仙沼駅へは約129分かかるものとします。 (2026年 広島県公立入試 類似)
1. 盛岡駅、秋田駅、気仙沼駅のいずれの都市へも、新幹線の整備によって仙台駅から1時間以内で到達できる
 2. 気仙沼駅へは新幹線が整備されているため、秋田駅へ向かうよりも短い時間で移動することが可能である
 3. 秋田新幹線が利用できる秋田駅への移動には、東北新幹線が利用できる盛岡駅へ向かうよりも長い時間を要する
 4. 新幹線を利用しない気仙沼駅への移動時間は、高速化された在来線により、新幹線を利用する盛岡駅よりも短い
- 問5 日本国内における特定の発電方式の地方別割合を見ると、九州地方が約59パーセント、東北地方が約37パーセントを占めており、これら2つの地方で全体の9割以上を占めています。火山地帯を有する特定の地域に集中しているこの発電方式は何ですか。 (2026年 長野県公立入試 類似)
1. 風力発電
 2. 原子力発電
 3. 水力発電
 4. 地熱発電
- 問6 東北地方の北端に位置する県では、ある果実の生産が盛んであり、その収穫量は全国でも圧倒的なシェアを占めています。統計において年間収穫量が40万トンを超え、2位以下の県を大きく引き離しているこの果実はどれですか。 (2018年 北海道公立入試 類似)
1. りんご
 2. おうとう
 3. みかん
 4. ぶどう
- 問7 東北新幹線が通過する福島県と岩手県の間に位置する県には、人口が100万人を超える東北地方最大の都市があります。この県名と都市名の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 北海道の札幌市
 2. 福岡県の福岡市
 3. 宮城県仙台市
 4. 広島県の広島市
- 問8 日本の人口構成に関する統計において、1980年と比較した人口比率が約93%まで減少し、65歳以上の人口割合が約40%に達している一方で、15歳から64歳の生産年齢人口の割合が他地域に比べて著しく低くなっている秋田県のような地域で、現在直面している課題として最も適切な説明はどれですか。 (2025年 愛知県公立入試 類似)
1. 若年層の労働力が豊富になることで、製造業を中心とした第2次産業の経済成長が加速すること
 2. 都市部からの人口流入が急激に進むことで、住宅不足や交通渋滞などの都市問題が発生すること
 3. 年少人口が増加することで、義務教育に必要な学校施設の不足が深刻な問題となること
 4. 社会を支える労働力となる生産年齢人口が減少し、社会保障などの負担が相対的に大きくなること
- 問9 東北地方の各県における農業統計に基づき、土地利用や生産状況について説明した次の文のうち、正しいものはどれですか。なお、宮城県の総面積に対する耕地面積の割合は約17.2%、青森県は約15.5%です。 (2024年 宮城県公立入試 類似)
1. 岩手県は、広大な土地を活かした畜産が極めて盛んであり、県全体の農業産出額の7割以上を畜産が占めている。
 2. 青森県は東北地方で最も総面積が大きいので、山地が多いにもかかわらず耕地面積の割合も東北6県で最大である。
 3. 宮城県は、仙台平野などの平地を有効に活用しており、総面積に対する耕地面積の割合が青森県を上回っている。
 4. 秋田県と山形県は東北を代表する米どころであり、この2県だけで東北地方全体の米の産出額の半分以上を占めている。
- 問10 1990年代と比較して、現在の東北地方における高速道路整備の状況とその背景について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)
1. 日本海東北自動車道や東北中央自動車道、三陸沿岸道路などの整備が進み、日本海側と太平洋側の各都市を多角的に結ぶネットワークが構築された。
 2. 南北の幹線道路のみを重点的に拡張し、東西方向の移動については既存の一般国道を利用する方針に転換したため、移動時間は変化していない。
 3. 新幹線の利用者を増やす目的で、高速道路の建設を一時中断したため、2020年代になっても1990年代と路線の状況はほとんど変わっていない。
 4. 人口減少に対応するため、1990年代よりも高速道路の総延長を縮小させ、主要都市間のみを限定的に結ぶ構造に簡略化した。
- 問11 津軽塗や天童将棋駒のように、東北地方の各地で古くから伝統的工芸品の生産が発達してきた背景には、この地域の気候条件が大きく関係しています。その理由として最も適切なものはどれですか。 (2024年 青森県公立入試 類似)
1. 一年を通して温暖な気候であり、原材料となる植物の栽培が容易だったから
 2. 夏期に雨が少なく農作業ができなため、代わりの産業として行われたから
 3. 雪が多く冬の間は農作業ができなため、屋内でできる副業として行われたから
 4. 急速な工業化が進み、大規模な工場で製品を大量生産することが可能になったから
- 問12 東北地方の中央を走る奥羽山脈を挟んだ、日本海側の秋田市と太平洋側の宮古市の気候の違いについて説明した文として最も適切なものを1つ選びなさい。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 冬の降水量は季節風の影響を受ける秋田市の方が多く、夏の平均気温はやませの影響を受ける宮古市の方が低い。
 2. 冬の降水量は太平洋側の宮古市の方が多く、夏の平均気温は秋田市の方が低い。
 3. 年間を通じた降水量は宮古市の方が多く、夏の平均気温は秋田市と宮古市でまったく同じである。
 4. 冬の降水量も夏の平均気温も、日本海側に位置する秋田市の方が低い。